

第3学年3組 道徳科 いつもぼくだけ

主な学習活動と予想される児童の反応	本時見られた深く学び続ける子どもの姿
1 人権学習を振り返り、本時学習のめあてをつかむ。 友だちに対する見方を見つめ直そう。	○ これまでの人権学習を振り返らせることで、めあてをつかむことができた。
2 「いつもぼくだけ」の前半を読んで、話し合う。 ○ 帰りの会の様子から、あきら君に対する言動のおかしさについて考える。 ・ たつや君には何も言っていない。 ・ あきら君の話を聞こうとしていない。 ○ たつや君や周りの友だちに決めつけられて「いつもぼくだけやん」と言ったあきら君の気持ちについて考える。 ・ 見てないのに勝手に決めつけないで。	○ あきら君に対する態度とたつや君に対する態度の違いに着目させて、黒板に関係性をまとめたことで、偏った見方のおかしさについて気付くことができたり、あきら君の気持ちについて深く考えたりしようとする姿が見られた。
3 「いつもぼくだけ」の後半を読み、自分がこのクラスにいたらどうするか考える。 ○ 「もし、自分がこの場にいたらどうするか」と、その理由を考えて、小グループで話し合う。 ・ よしこさんのように相手の気持ちを考えて行動する。本当にきつい思いをしていることが分かったから。 ○ 決めつけた見方をしないために必要なことを考え、全体で意見を出し合う。 ・ 普段からいろいろな人と遊んだり、話したりして、相手のことをよく知る。	○ 小グループで話し合う活動を仕組んだことで、自分がこの場にいたらどうするかについて考えたり、考えたことを自分から交流しようとする姿が見られたりした。 ○ 日頃の自分の言動を振り返らせたことで、つい決めつけてしまう自分の弱さに気付いたり、全体で意見を共有したりすることができた。
4 「今日の学習で」を書いて、本時学習を振り返る。 ○ 学んだことをどんな考え方や行動につなぐか考える。 ・ これまで自分は決めつけたことがないと思っていた。だけど、今日の学習で気付かないうちに自分も決めつけていたことに気付くことができた。あきら君が本当にきつい思いをしていたということが分かった。これからは自分が決めつけた見方をしないというだけではなく、気付いて注意するようにしたい。	○ 振り返りの視点を提示したことで、今日の学習で学んだことから自分を振り返って書くことができた。これからの自分について、どうなりたいか、どうありたいかを想像して書こうとする姿が見られた。

- 板書上であきら君の様子や言葉を可視化し着目させて、決めつけられたときの気持ちを書かせたことにより、寄り添って考えることができていた。
- 「決めつけた見方をしないために必要なこと」を全体で交流した後に、「今日の学習で」を書かせたので、他の友達の考えとつないで今後の自分について書くことができた。
- グループや集団に対して、「いけない人には注意をする。」という行動を起こそうというところまで深めることができなかった。